

子宮頸がん検診について

○子宮頸がん検診を受診できない方

- ①生理中の方。
- ②最近6ヶ月以内に次のような症状がある方は、病医院を受診してください。
 - ・不正性器出血（定期の生理以外の出血や閉経後出血）のある方。
 - ・月経異常（過多月経や不規則月経等）のある方。
 - ・褐色帯下（褐色のおりもの）のある方。
- ③妊娠中あるいは妊娠の可能性がある方。
（かかりつけ医療機関で受診してください）
- ④子宮がん等で治療中の方及び経過観察中の方。
- ⑤性交渉の経験のない方。
（検診による出血や痛みを生じる可能性があり、病医院への受診をお勧めします）
- ⑥検診当日、体調不良の方（体温が37.5度以上、風邪症状が持続している方など）

○子宮頸がん検診の受診前にかかりつけ医に相談していただきたい方

- ①子宮の手術を受けた方
（手術部位等により、検診を受けられない可能性があります）

○子宮頸がん検診の受診の際の注意事項

- ①受診票はご自身で記入をお願いします。
- ②閉経後の方は子宮頸部の細胞が少なく、十分な細胞が採取できずに判定不能となる場合があります。
- ③検診前日の腔内洗浄は細胞が洗い流されることがありますので、避けてください。
（入浴はしていただいても差し支えありません）
- ④検診前日の性生活は避けてください。
- ⑤当日は検診前に排尿を済ませてください。
- ⑥検診を受診しやすい、着脱しやすい服、靴で受診してください。
- ⑦この検診では、細胞を採取するため、専用の採取器具（ブラシ）を使用します。
そのため、出血や痛みが生じる場合があります。出血は、おりものに血液が混じる程度で、多くの場合自然に止血します。ナプキン当て様子を見てください。
検診後に出血が増えたり、長く続くようであれば、病医院（産婦人科）を受診してください。
- ⑧何らかの理由により検診車、診察台への昇降が困難な方、担当者の指示通りの体位を維持することが困難な方は検診をご遠慮いただくことがあります。また検診ができて結果が判定不能となる場合があります。そのため事前にご心配なことがある場合は必ず検診日までにご相談ください。
また検診当日に検診医又は看護師が受診することが困難と判断した場合もご遠慮いただくことがあります。ご了承ください。
- ⑨子宮頸がん検診後に尿検査をすると、潜血反応が出る場合があります。